

平成17年度舟入高等学校SELHi研究開発中間報告会 研究授業指導案

教 諭 住田 恒三

1. 授業名 『英語 I』
2. 期 日 10月28日(金)
3. 時 間 3 限
4. 場 所 北棟3階 LL2教室
5. 対 象 1年 9組 20名(普通科・国際コミュニケーションコース)
6. 内 容 英字新聞読解
7. 教 材 『MAINICHI Weekly No.1722(10/15/2005)』
8. 背 景

(1) 教材観

前週まで扱っていた教科書から離れ、今週は英字新聞(10月15日付のMAINICHI Weeklyの第1面の英文)の読解を試みる。第1学年の生徒にとってはやや難解な文章ではあるが、語彙プリントや読解用プリントを活用して概要を掴ませ、音読を通して内容を把握させたい。

(2) 生徒観

普通科国際コミュニケーションコース1年9組の生徒20名である。英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする姿勢にあふれ、英問英答の授業展開等には意欲的に取り組んでいる。音読についても既に目標値の毎分120語を越えており、音読活動を読解に結び付けさせたい。

(3) 指導観

難解な文章であっても全文訳にこだわらず、パラグラフごとの要約をめざした英問英答等の活動を通して、内容把握を図りたい。また、今回のような平和問題を授業で扱うことにより、国際交流の場を多く経験する国際コミュニケーションコースの生徒のピース・メッセンジャーとしての認識も深めさせたい。

9. 学習指導計画

時	学習内容・学習活動
1～2	CD音声視聴、音読、語彙プリント・読解用プリントを活用した内容把握
3(本時)	音読、要約、エッセイ

10. 本時案

(1) ねらい

- ① 難解な文章の内容を要約しながら把握する力をつける。
- ② 文章の内容に関連させて自らの意見をまとめる力をつける。
- ③ 国際問題や平和問題に取り組む積極的な姿勢を伸ばす。

(2) 準備物

- ・ 本文プリント
- ・ 語彙プリント 及び 読解用プリント
- ・ CDプレーヤー

(3) 学習過程

流れ	時間	活動内容	指導(○)と評価(◎)の留意点
導入	10分	<ul style="list-style-type: none">挨拶前時の内容確認CD視聴(128秒)音読(2回)	◎CDに合わせて、音読する。
展開	25分	内容把握 <ul style="list-style-type: none">読解用プリントのQUESTIONS for COMPREHENSIONを用いて、英問英答で内容を把握する。	○文章の流れに合わせて生徒に質問し、それに答えることで内容把握につながることを確認する。 ◎自らの考えを自らの言葉で答えようとする姿勢を評価する。
まとめ	15分	<ul style="list-style-type: none">QUESTIONS for DISCUSSIONを用いて、英語で自らの意見をまとめる。その中からテーマを一つ選び、英語エッセイを書く課題を与える。挨拶	○他の生徒の意見を聞き、それを参考にしながら自分の意見をまとめさせる。 ◎自らの考えを自らの言葉で答えようとする姿勢を評価する。